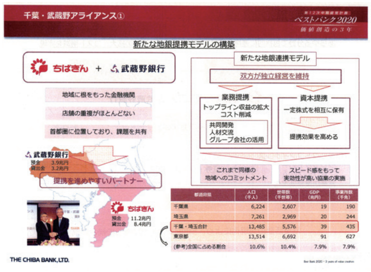
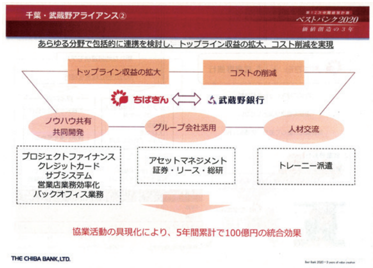
■新入会員卓話
鳥海浩幸 会員

千葉銀行稲毛支店の鳥海です。千葉西ロータリークラブに入会して8ヶ月になります。本日は、先月発表した千葉銀行と武蔵野銀行の提携についてお話したいと思います。

去る3月25日、当行と武蔵野銀行は、包括提携することを発表しました。
当行と武蔵野銀行の両行は、地域経済の発展に対する強い決意や地域のお客様との関係を最も大事にする考え方など、共通する価値観を有しています。
また、主たる営業エリアは地理的に近接しておりますが、マーケットの重複がほとんどないことに加え、首都圏に位置する両行は同様の競争環境を共有していることから、連携を高めていくうえで、お互いに理想のパートナー同士であると考えております。
両行が基盤とする首都圏は、人口の増加が続いているほか、東京オリンピック・パラリンピックを控え、今後さらなる発展が期待されております。
また、千葉県と埼玉県の人口は13百万人と東京都にも匹敵し、日本の人口の10%以上を占めています。
こうした環境のもと、両行は将来にわたって地域の発展を確固たるものとするために、より積極的な役割を果たしていきたいとの思いで一致し、提携に至ったものです。
本提携は、地方創生やトップライン収益向上、コスト削減等を目的に業務面での連携を幅広く行う「業務提携」と一定程度の株式を相互に保有する「資本提携」を柱としています。
経営統合ではなく、「新たな地銀提携モデル」ともいうべき「包括提携」です。実施した理由は、経営統合であれば、どうしてもどちらかにとって地域へのコミットメントが薄れてしまう懸念があるほか、統合のために多大な労力を要し、効果の実現までに時間を要する恐れがあるためです。
提携という形であれば、そういった懸念点を考えることなく、具体的な効果が見込めるものから、スピード感をもって取り組んでいくことが可能です。
また、実効性という観点においても、今回は相互に株式を保有することから、相手方の業績向上が投資リターンという形で還元されますので、「Win-Winの関係に繋がるような連携強化」という意識が一層高められるものと考えています。

今回の業務提携において、協業を検討している分野について、お話させていただきます。
本提携では商品・サービスの高度化による「トップライン収益の拡大」、バックオフィス業務の共同化などによる「コスト削減」をめざし、互いのノウハウの共有、商品・サービスやＩＴシステム等の共同開発、人材交流、グループ会社の相互活用など、スピード感を持って検討してまいります。
ノウハウの共有では、当行が最近注力しているプロジェクトファイナンスやクレジットカードビジネスにおける地域優待スキーム等、当行のノウハウを武蔵野銀行と共有し、武蔵野銀行の顧客に新たな価値を提供してまいります。
商品・サービスやＩＴシステムの共同開発では、各種サブシステムの共同開発や、当行が現在進めている営業店業務効率化などの取り組みを共同で行っていくようです。
また、信託業務については免許を取得している当行がバックオフィス業務を受託することや、海外進出支援について、海外拠点を有する当行が武蔵野銀行の顧客にファイナンスを提供すること、大規模な設備投資等まとまった資金を必要とする場合に、シンジケートローンの組成を行うことなど、幅広く共同でビジネスを展開していくようです。
グループ会社の活用では、武蔵野銀行による「ちばぎん証券」を活用した金融商品仲介や、「ちばぎんアセットマネジメント」による共同商品開発などを行っていくほか、ちばぎん総研におけるコンサルティングや地方創生への取組み、当行とちばぎんリースの媒介業務などのノウハウを武蔵野銀行と共有することで、法人顧客の課題解決に向けた取り組みを加速させていくことと思います。
人材交流については、当行海外店への武蔵野銀行の行員のトレーニー受け入れや、さまざまな業務レベルでの交流など、幅広く行っていくようです。
さらに、両行は千葉・埼玉に稠密な店舗網を有し、渉外担当が日々お客さまと接する中で、営業に関するものや不動産に関するものなど、さまざまな種類の情報を入手しています。こうした情報を両行で有効に活用していくようです。
たとえば、当行のお客さまより「埼玉県に販路を拡大させたい」といったニーズをキャッチした場合、武蔵野銀行と連携して、不動産情報などをいち早く提供できれば、競合他行に先駆けて資金ニーズにお応えすることができます。
こうした地域における圧倒的な情報力は大手行には無い地方銀行の大きな強みであり、特に千葉県・埼玉県という成長地域で強い基盤を持つ当行・武蔵野銀行がこうした情報連携を密に行うことについては、お客さまからも期待の声が寄せられています。
まとめますと、本提携をつうじて共同化などによるコスト削減のほか、ノウハウの供与や情報の共有をつうじて収益力の向上が見込まれ、こうした施策による効果は、今見積もっているだけでも5年間累計で100億円程度にのぼります。今後両行が全行的に連携策を検討する中で、さらなる効果も追求していくものと思います。
またこれらに加え、互いの業績の向上を投資リターンという形で取り入れることができますので、Win-Winの関係が構築できるものと考えています。
以上、現在当行が公表している内容になります。ご清聴ありがとうございました。





芦谷源一 会員

平成28年4月26日

◎千葉西ロータリークラブ卓話資料

＜仮想通貨について＞

〇仮想通貨とは？

・特定の国家による価値の保証を持たない通貨。

〇仮想通貨の特徴

①専門の取引所で円、ドル、ユーロ、人民元等の現実の通貨と交換可能。
②中央銀行等の公的発行主体や管理者を持たない。
③取引や決済は全てインターネット上で処理する。
④ネット上で参加者全員が取引記録を共有し、正当性を互いに認証し管理者をなくすブロックチェーンの仕組。
（通常の通貨では、中銀や民間銀行がお金のやりとりを記録し、その正当性を認証。）
⑤パソコン等で24時間取引可能。

〇支払手段の特徴

（仮想通貨）　※支払手段ではない

	①ビットコイン 600種類以上存在 ライトコイン ドージコイン	②法定通貨 円 米ドル ユーロ	③電子マネー ナナコ Suika ｗａｏｎ	※ポイントカード Ｔポイント 楽天ポイント
発行主体	なし	国・中央銀行	企業	企業
根拠法	資金決済法	日本銀行法など	資金決済法	資金決済法
発行上限	2，100万個	なし	なし	なし
価値の源泉	希少性	国家の信用力	企業の信用力	企業の信用力

〇ビットコインの概要

世界での利用者　→　1，200万人
日本での利用者　→　5万人
日本での1日あたり取引量　→　6億円

1．活用事例

①投資目的
・現状は、投資としての活用が多い。

※1ビットコイン当りの価格　H27/1 177ドル　約2．4倍 ⇒　現在 430ドル

1日あたりの取引量　→　20万件
人民元のシェア　→　約4割（中国人の利用者が多い）

・金融危機発生国家（例えばギリシャ）やハイパーインフレ国家の国民の資産保全。

②送金
・インターネット上で簡単に送金でき、手数料も銀行と比較して格段に安い。
・海外送金も低コストで可能。（外国人労働者が母国に送金）
・銀行口座を持たない人が多い新興国での活用。

③物品購入
・現在日本でビットコインで決済可能な店舗数　→　約1，000店舗
例えば　動画配信大手　DMM．Ｃｏｍ

2．リスク

①価格変動が大きい。資産価値の保全に適さない。
②取引記録を捕捉しにくいため、違法取引に利用される可能性がある。
③取引所破綻により資産を失う可能性がある。
取引所は法律上は一般企業であり、銀行預金のような預金保険法の対象外。

⇓ 法規制案

3．法規制案

①取引所に顧客の資産と自己資産を分ける分別管理。
②最低資本金の導入。
③監査法人や公認会計士の定期監査義務付け。
④利用者に対し仮想通貨の取引内容や手数料の情報開示の徹底。

4．今後の動き

・産業として成長し、既存の金融秩序が大きく変わる可能性がある。
事例：ＩＰ電話が国際電話を大幅に縮小させた

＜参考＞

仮想通貨の入手方法

①スマートフォンやパソコンから取引所のサイトにアクセス。
②名前やメールアドレスを登録。
③免許証等本院確認書類を提出。
④仮想通貨を保管する電子財布を作成。
⑤クレジットカードや指定の銀行口座に資金を振込仮想通貨購入。

■ニコニコ BOX

- 新千葉 RC 鈴木様
- 佐藤…40 周年記念親睦旅行、御苦労さまでした。
- 園川…中谷会員の後任としていちよし証券千葉支店長の水元さんをよろしくお願いします。
- 花嶋…妻の葬儀に感謝です。ありがとうございました。
- 稲垣…結婚祝いを頂いて。
- 遠藤…野口親睦活動委員長、佐藤 PP 親睦旅行、WRG ゴルフコンペで楽しませて頂きました。
- 川島治代…親睦旅行おかげ様で楽しませて頂きました。
- 藤崎…親睦旅行、お世話になりました。新千葉 RC 創立 50 周年お疲れ様でした。
- 渡辺…いい天気ですね～！
- 野城…親睦旅行お疲れ様でした。旅行で良い事がありました。親睦活動委員会の皆様、須藤会員ありがとうございました。
- 花光…親睦旅行に参加ありがとうございました。
- 野口アキ子…親睦旅行は皆様のご協力により楽しい一時を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。
- 三上…結婚祝い、わざわざ送って頂き、ありがとうございました。
- 花澤…熊本震災お見舞い申し上げます。
- 白井…WRG 優勝させて頂きました。
- 水元…本日、入会させて頂きましたのでよろしくお願いします。
- 事務局森川…親睦旅行では息子が大変お世話になりました。とーーーっても楽しかったそうです。

本日の出席	総　数	対象者	出　席	欠　席	出席率	ニコニコBOX 合　計
	58 名	56 名	43 名	13 名	76.79 %	60,000 円

前々回修正	メーキャップ	出　席	欠　席	出席率	ニコニコBOX 累　計
	0 名	58 名	0 名	100.00 %	1,545,000 円

次週のプログラム
5月3日(火)祝日により休会
5月9日(火)
会員増強オープン例会
ゲスト石原新菜氏（医師）
東天紅
点鐘18:30

広報情報委員会【委員長】松本　忍【副委員長】海寶勘一【委員】能勢正明　米田純一郎【兼任委員】平良真人　山木克史